

声かけで救える命

2月1日(日) ゆうゆうセンターで、ゲートキーパー(自殺防止活動を行う人)の養成講習会が開かれました。

福井県の東尋坊で活動を続ける茂幸雄さんから、「自殺を止めるのは誰にでもできます。心の叫び声に耳を傾け、地域のゲートキーパーになってください」との言葉がありました。

ゲートキーパーの心得

気付き・声かけ	家族や仲間の変化に気付いて、声をかける
傾聴	本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける
つなぎ	早めに専門家に相談するように促す
見守り	温かく寄り添いながら、じっくりと見守る



茂さん

夢と希望を持ち続けて

2月7日(土) ゆうゆうセンターで、男女共同参画フェスティバル2015が開かれ、約350人が参加しました。

障がいのある子どもの母親として活動するYOKOさんから、「辛いことがあっても諦めないで。明日を嘆くことより、今日を生きることが大切」との言葉がありました。

また、女性鵜匠の澤木万理子さんからは、全国で初となるウミウの人工育雛で感じた苦労と喜び、伝統を守ってきたいという夢が語られました。



澤木さんの講演



YOKOさんのトーク・コンサート



つかめ！縄跳びのコツ

1月20日(火) 星田小学校で、全校児童による縄跳びの練習が行われました。

児童は、時々縄に引っ掛かりながらも、曲のリズムに合わせて夢中で跳んでいました。



よ〜く目を凝らして

1月31日(土) 星の里いわふねと天野川沿いで、冬の野鳥観察会&野外体験料理が開かれました。

参加者は、寒さも忘れて鳥影を探し、野外で作ったカレーに舌鼓を打ちました。



魚釣り

遊びがいっぱい、楽しいよ！

1月29日(木) ゆうゆうセンターで、キッズフェスタ2015が開かれました。

子どもたちは、子育てサークル手作りのゲームコーナーで、魚釣りやミニボウリングなどを歓声を上げながら楽しみました。



文書整理

働くイメージを持とう

26年10月27日(月)から3か月間、市役所内で障がいの体験型インターンシップが行われ、10人が参加しました。

研修を終えた参加者からは、「自分の強みが分かり、就労意欲が高まった」などの意見があり、就業について考えるきっかけとなりました。

星田でどすこい！

3月8日(日)～22日(日)に府立体育会館で開かれる三月場所に備え、春日野部屋が星田会館に11年目となる宿舎を開きました。

今春場所では、栃煌山関、碧山関、栃ノ心関の活躍が期待されており、他の力士と共に稽古に励んでいます。



栃煌山関



勝ち抜いて 目指せ日本一

2月4日(水) 交野レッドサンダーズの選手が、第8回春季全日本小学生女子ソフトボール大会への出場を報告するため、黒田市長を訪問しました。

同大会は、3月27日(金)～30日(月)に、三重県紀北町で開催される予定です。

